

平成29年度 第4回酒田市元気みらいワークショップ



日時 平成29年8月6日(日)14:00~16:30

場所 酒田市役所1階フリースペース

参加者 公募に申し込んでくださった12名の方々
(第3回は3名欠席で9名参加)

ファシリテーター 遠藤智栄 氏

仙台市在住。東北各地でまちづくりやNPO活動、ワークショップ等を支援。

■ワークショップ

○前回のふりかえり

チェックインから、
前回のふりかえりを行いました。



壁に貼った模造紙をみて
ふりかえります。

前回検討したテーマについて、
メンバーで確認します。



〇ミニ講義

提案（政策・施策）の手段いろいろ



手段の視点・・・ 経済的、規制の、自主的、情動的、
事業的、支援的、調整的、組み合わせ

提案（政策・施策）の手段いろいろ

8月6日資料

事業名など	事業内容	手段視点（酒田市の取り組み）	
		自主的	調整的
さかた産業フェア開催事業	酒田市、酒田商工会議所、ふれあい商工会の負担金と出展料をもって、さかた産業フェア運営協議会が行っている。	自主的 調整的 支援的	協議会の自主的運営 協議会で産業フェアの調整 市が協議会へ負担金として支援
定期船とびしま利用促進事業	ジオパーク認定を契機に、子ども連れ家族が飛鳥でジオパークを楽しみ、学習する。定期船の子ども料金を無料にすることで乗船者数の増加と飛鳥への観光誘客の促進を図る。	組み合わせ	乗船者数増と観光振興の組み合わせ
水質汚濁防止法の上乗せ排水基準（県）	事業所からの排水は、法律により基準が設定されているが、山形県では独自に厳しい基準を設定している。	規制の	上乗せ基準の設定（県）
東北公益文科大学学生定住促進事業	公益大に4年間在学し酒田市に在住することになった学生に対し、奨学金相当分を補助金として支援するとともに、定住促進を図る。	支援的	奨学金相当分を市が補助金として支援
広報広聴活動推進事業	広報紙、HP、FM放送、FB、メールマガジンなどを活用し、市の行政情報を市民に提供する。	情動的	市の情報を提供
空き家キラキラ人口増加構想 ※昨年度元気みらいワークショップ提案	空き家関連制度の周知チラシを見やすく、イラストなどを入れて改善	情動的	周知チラシをイラストを入れた情報提供に改善
新井田川美化ボランティア行事	農管理の河川である新井田川の川辺の草刈を山形県建設協会酒田支部青年部がボランティアとして活動	自主的	青年部の自発的な活動の支援、他団体とのコーディネート

〇テーマへの提案、チームに分かれ検討



前回の提案テーマを
さらに検討してありたい姿を
追加していきます。

調べてきた資料も貼って
メンバーで検討していきます。





手段の視点を参考に
提案テーマの実現に向けて
方策を追加していきます。



○提案シートの案について作成していきます。



現状や課題から提案内容を記入していきます。



その後、目標・効果・役割分担など記入していきます。



前回の提案の内容を整理して、提案シートの案を作成していきます。



どのような方策があるか検討しています。

○メンバーで共有！

提案シートの案について、メンバーで共有していきます。



○提案シートの案ができました！

テーマ① 市民が気軽に使える場のリノベーション

現状

1. 空店舗・廃校・空家・コミュニティセンターが
多くあるのに活用されていない。
2. 若者や子育て世代の人が イベントを企画しても
使える場所を知らない。それでも使用料が高い。
3. 若者や子育て世代の人が 参加したいと思うイベントが
企画されていない。

課題

1. 情報発信力が弱い。
2. コミュニティセンターが若者や子育て世代に利用されていない。
3. 地域にある魅力的な施設や場所が有効活用されていない。

提案

1. 一部のコミュニティセンターを重点的に管理の下で
情報発信やイベントのプランニングを行う。
2. 空店舗・廃校・空家・コミュニティセンターの使用状況を
把握し、情報を一元化し、誰でも使い易くなる
システムを作る。

目標

効果

スタッフ
ホルダー

パートナーシップ

誰か
どこまで

テーマ② 若者が集まる場のきっかけづくり

現状

- ・サケルを作りたくても作れない 仲間がいらない
- ・どんなサケルが欲しいかわからない
- ・やりにくいなさりたい
- ・文化センターや集まっているサケル(例) 若者集まる

課題

- ・若者の活動の発信力が弱い
- ・場所がない
- ・気軽にいそいそ 情報収集の場がない

提案内容

サケル代表 若者代表 事務局

サケル説明会
しかけ人ミーティング
いつでも若者が集まる場

若者が
やりにくく集まる
きっかけを作る
情報収集の場

サケル代表 若者代表 事務局

サケル説明会
しかけ人ミーティング
いつでも若者が集まる場

サケル説明会
しかけ人ミーティング
いつでも若者が集まる場

目標

若者のしめり作りが盛り上がり
若者が元気になる。きっかけが作れる

効果

出会いが増えるので 結婚につながる
酒田に好感を感じる若者がふえる
サケル以外の生活する 生きがいが増える
若者が楽しく生活できる。

関係

市役所 青年会議所
会場の人 若者(しかけ人になる人)

パートナー

しかけ人

役割

事務局 PR活動(市役所青年会議所)
しかけ人(サケル)
会場の種(サケル)
活動費(市役所)

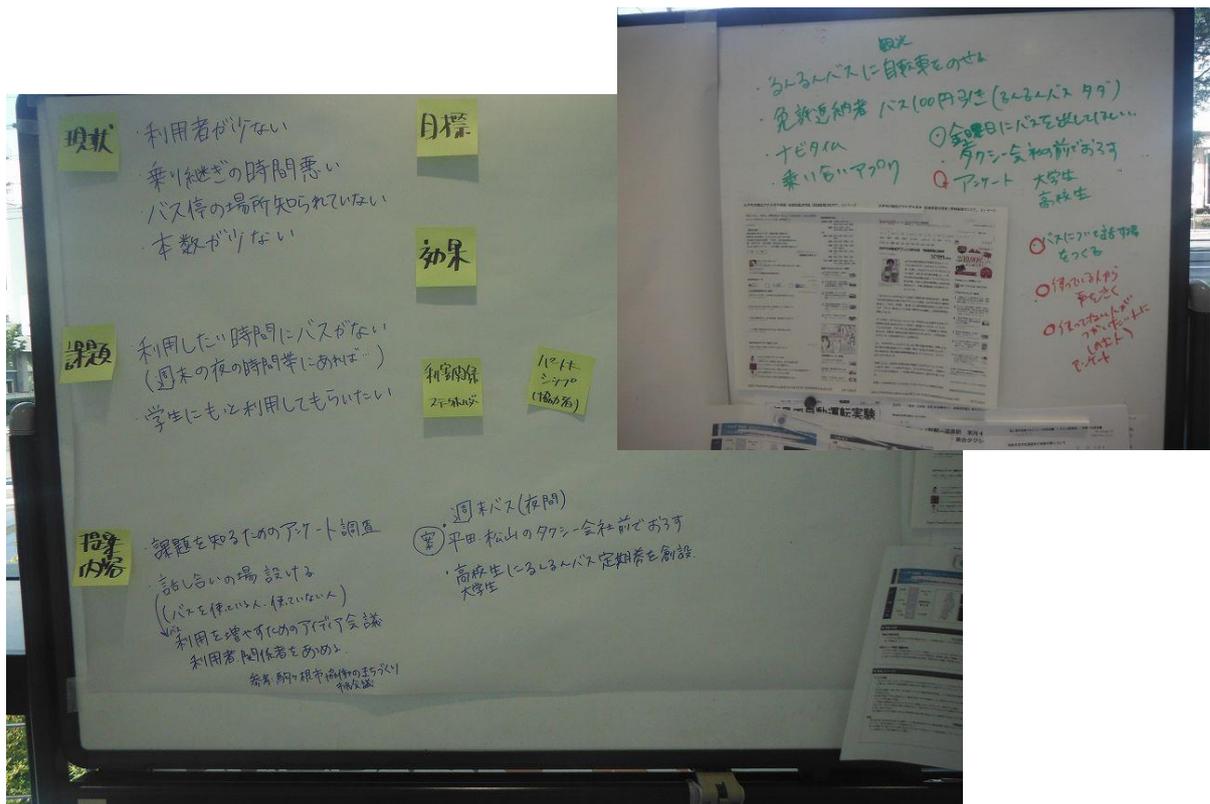
テーマ③ 地域みんなで子育て

困っていること コミセン活用 NO.1	提案 コミセン活用 NO.2
<ul style="list-style-type: none"> ・ 孤児はお母さんが多い ・ 平日、家の近くで集まる場所がない ・ 子育て世代以外の方は、"子育て"に興味がない ・ コミセンが 高齢者の利用が多く、子育て世代は利用しない ・ おり小まい子^{（妊婦さん）}（赤ちゃん（3か月検診前））に交流の場がない ・ お父さんにも子育てに答えてほしい 	<ul style="list-style-type: none"> ・ コミセンの 回覧板などで 周知 ・ 地域のことを知る（保育園小中学校 だより 配布） PTAだより
<p>目標</p> <p>地域のことを 知り合える 誰でも知り合える 場所をつくる</p> <p>（特に、どこにも所属していない^{（保育園 公園前）}人）</p>	<p>ステークホルダー</p> <p>イラスト</p>
<p>提案</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ コミセンの活用 平日に 子育て世代が利用できる ようにする （保健師、保育士、読み書き、ホラニラップ 等） 	<p>誰かどきまで</p>

3つの提案を検討中です！

困っていること 子育て情報発信 NO.1	困っていること 遊び場づくり NO.1
<ul style="list-style-type: none"> ・ 子育てに 困っている 自信のない お母さんがいる ・ お父さんも 子育てに 参加してほしい ・ 子育て情報発信（ハンドブックと 1125マップ 合わせて作る）最新のもの 更新できているもの 少ない ・ 今のお父さん・お母さんが ほしい情報が のっていないのでは... ・ 酒田市内の 病気、感染症の 流行の 状況が わからない 	<ul style="list-style-type: none"> ・ のびのび 遊ぶ場所がない ・ 親が 遊び方を 知らない ・ 水遊び場がない（海水浴ではない水遊び） ・ お母さん 1人でも、子供を安全に 遊ばせることが できる場所がない。（自然はあるけど... 日常的に遊ぶのは難しい）
<p>目標 最新の 子育て情報 が 得られる</p> <p>提案 新しいツールによる 情報発信</p> <p>ex) Line a活用（QRコードから登録） 無料（なる）でできる ハンドブック</p>	<p>目標 安心して 遊ぶ場所（屋内外）をつくる</p> <p>提案 屋内・屋外と 区別した 遊び場 も よい</p> <p>屋内だけでなく 屋外の 遊びができる ような... ところをつくる!</p> <p>ex) 秋田 港湾エリアにある 山形 バンコク 天童、栗根...</p> <p>水遊び場 をつくる をつくる!</p> <p>ステークホルダー</p>

テーマ④ ばす！（仮称）



次回からは、テーマに関連する職員も加わりながらのワークショップとなります！

■その他

- ・次回開催案内
日時：8/26（土）14：00～16：30
場所：市役所1階フリースペース

以上で閉会しました。